

APRICOT2023/APNIC55 参加記

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科
石原 匠

自己紹介

- 氏名：石原 匠(a.k.a たくあん)
- 所属：慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科
 - 村井合同研究室
 - WIDE Project
- 学年：修士1年
- 研究テーマ：移動体通信, MEC, 協調型ITS



今回の発表について

- JPNICの支援プログラムでwakamonoがAPRICOT2023/APNIC55に参加してきた
- 初めて国際会議に参加したwakamonoが何を感じたか
 - 特にPolicyに関するセッションについて
- wakamonoももっとPolicyに興味を持っていこう！！

APRICOT2023/APNIC55

APRICOT2023/APNIC55

日時：2023 2/27~3/3

場所：フィリピン マニラ

参加人数：833人



APRICOTとは

Asia Pacific Regional Internet Conference on Operational Technologiesの略で、アジア太平洋地域において、インターネット基盤を強固に成長させるために必要となる知識と理解を養い、それをさらに高めることを使命とする技術カンファレンスの名称。非営利組織であるAPIA (Asia & Pacific Internet Association)が、APRICOTを主催している。

[インターネット用語1分解説](#)より引用



参加したセッション

- MANRS Community Meeting
- RPKI Tutorial - ROV Hackathon
- APNIC IPv6 Deployment
- APNIC Routing Security SIG
- APNIC Open Policy Meeting
- NOG Report
- APNIC AGM

APNIC Open Policy Meetingとは

アジア太平洋地域におけるIPアドレス関連の技術，ポリシー等について取り扱うミーティング。 APNIC Open Policy Meetingにおいて参加者によるコンセンサスが得られた提案事項は，一定の手続きを経てAPNICによってアジア太平洋地域のルールとして実装される。

[インターネット用語1分解説](#)より引用



APNIC Open Policy Meeting 1

- Chairの方々からOpen Policy Meetingの説明
- 2022年のIPアドレス状況の共有
- prop-147: Historical Resources Management
- prop-149: Change of maximum delegation for less than /21 total IPv4 holdings
- prop-150: ROA/whois object with Private, Reserved and Unallocated (reserved/available) Origin ASN
- prop-149-v001: Change of maximum delegation for less than /21 total IPv4 holdings

APNIC Open Policy Meeting2

- プロポーザル提出方法についての議論
- Open Policy Meetingの運営についての議論
- prop-151: Restricting non hierarchical as-set
- パネルディスカッション
 - Leasing IP addresses

特に印象に残った場面

- Prop-150 ROA/whois object with Private, Reserved and Unallocated (reserved/available) Origin ASN
 - Private, Reserved, 未割り当てのASNレンジでのROA作成を防ぐためのポリシー
 - セキュリティ上の問題が発生してしまう
 - 通知等を用いて防ぐPolicyが提案されていた

特に印象に残った場面

- Leasing IP addressesに関するパネルディスカッション
 - 現在のポリシーではAPNICは必要に応じてアドレスを割り当てているのでleaseは許可されていない
 - このことに関して、3人のパネリストがディスカッションを行っていた

参加してみて感じたこと

• 初の国際会議への参加

- 参加前は言語の壁に不安を感じていたが、積極的にコミュニケーションを取ればなんとかなる事を実感した
- 国際会議特有の雰囲気を経験できた

• インターネットは技術だけでは成り立たない事を実感

- 初めてPolicyに関するセッション・議論に参加
- 民主的に今のインターネットの世界は成り立っていると感じた

まとめ

- 英語に関してはなんとかなる
 - 字幕もリアルタイムで表示されたいたり，資料はほぼ公開されているので理解はできた
- Policyに関する議論は参加者からの同意に基づいて決定していた
 - 今回は聞くことしかできなかったが，今後は質問等できるようになって行きたい
- 若者にこのような機会を与えていただけた支援プログラムへの感謝！

今後

- APNIC56は京都で開催
 - 今回私がフィリピンで感じてきたことを国内で経験できる！？
 - 日本の若者も積極的にPolicyの話に関わっていくべき！
 - 皆さんの周りの若者の人にも声をかけてみましょう！！

APNIC **56**

